

チャレンジ事業をふりかえって

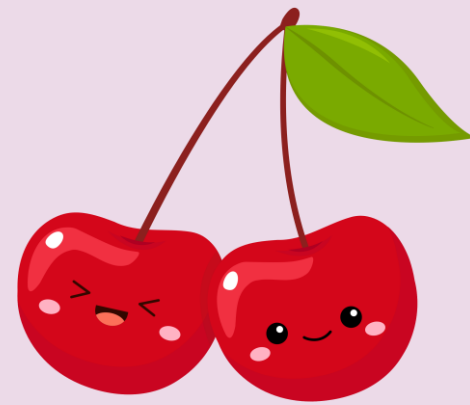
～素人な私たちがお伝えできること～



重症児・医療的ケア児相談事業さくらんぼすまいる

重症児・医療的ケア児相談事業

さくらんぼすまいる



発足の経緯

さくらんぼすまいる 高村（代表）の自己紹介

3 姉妹の母

長女：先天性胎児期水頭症からの
重症心身障害児、医療的ケア児

（胃ろう、のちに腸ろう、頻回な痰の吸引）

2015年、14歳で他界

次女：大学3年（福祉系）

三女：中学3年



（いつの写真やねん）←14年前



長女をお空へ見送って5年後…

金沢市議会議員：荒木博文さんとの出会い
(三女の学校PTAで偶然親しくなる)



校区内に新しく重症児デイサービス開所

荒木市議と内見会へ。そこで責任者の方に出会い、初対面で…

ここで、親御さんたちを集めて
相談会がしたいんです！

いいよ！



とにかく勢いで！
さくらんぼすまいるの
スタート！！

♡ 相談会 1 回目は、参加者ゼロ

でも諦めない！

デイサービスのスタッフに「医療的ケア児のリアル」を伝える座談会を開く。
その様子を新聞に取材してもらい、掲載、認知へ。

♡ 2 回目から、デイサービス利用者の親御さんを誘い、 少しずつ参加者が出てくる

参加してくれた方で「この人だ！」と思った方を
メンバーに勧誘
徐々にメンバーが増えていった



この頃の状況 (チャレンジ事業書類にも応募根拠として記載しました)

▶▶ 国では…

2021年9月 「医療的ケア児支援法」 成立

▶▶ 石川県では…

2022年4月 「いしかわ医療的ケア児支援センターこのこの」 開設

▶▶ 金沢市では…

「障害者ノーマライゼーションプラン2021」

▶▶ 世の中でも「医療的ケア児支援」への関心が高まっていたタイミング

▶▶ 行政からの興味がこちらへ向いてきた

荒木市議が、現石川県知事（出馬直前）の馳浩氏を相談会へ呼び、
金沢障害福祉課課長も同席



課長より「金沢市協働のまちづくりチャレンジ事業」応募の
打診を受け、応募を決意



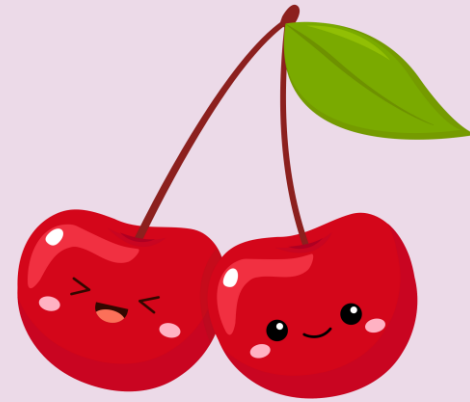
令和4年度、応募し採択される
以後、3年連続で採択へ



金沢市協働のまちづくりチャレンジ事業

-  1年目（R4） ひとりじゃないよ！
寄り添う・つながる相談事業
-  2年目（R5） つなげる・ひろげる相談事業
～誰ひとり取りこぼさない支援へ～
-  3年目（R6） みんなで安心をひろげる相談事
～すべての親が養あわせな子育てのできる社会へ～

重症児・医療的ケア児相談事業 さくらんぼすまいる



事業概要

団体紹介

2020年12月設立

しょうがい児の母親を中心に
活動メンバー15名。

親どうしのグループ相談会を軸に
勉強会や親子イベント等を実施。



(オンライン)

団体理念

「しょうがいの有無にかかわらず、
すべての親が
しあわせな子育てのできる社会」
をめざして活動。

事業概要

グループ相談会の実施（発足当初からつづく要）

デイサービス等の施設見学も兼ねた相談会、市の保健師も参加
保護者の居場所づくり、情報を届け、支援につなげていく



新規デイサービス見学会



地域の子ども食堂での開催

協働2年目 → メンバーの増員・強化

ピアスタッフ研修会の実施

相談を聞く側の心を守るため、年3回研修を実施

→ 自分を守り落ち着いて対応できるように

→ 活動メンバー増員にも



相談会で多い悩み「食事」→ニーズに対応したイベント開催

食事支援が必要な子どもとその家族の「楽もぐカフェ」の実施



OT、ST、栄養士
などの専門家が質疑応答

家電メーカー
金沢福祉用具情報プラザ
とも連携

→ 「わが子の障がいがわかってすぐ」の親へ情報を届けたい

「医療的ケアやサポートが必要な子の子育てハンドブックの作成



R5データ作成、R6年6月1500部印刷、
R7年、改訂増版予定

協働3年目 → 能登半島地震を受け防災に力を入れる



「石川トヨペットカローラ モビリティパーク金沢」にて
非常用電源についての防災勉強会

▶ 地震当日、車中泊を経験した家族も。
停電・断水時の医療的ケアはどうなる
のか？

▶ トヨペットカローラとの
「非常用電源勉強会」でも、
実際にやってみて初めてわかったこと
が多々あった



コンセント
どこ？

バッテリー
大丈夫？

医療機器の
電力は？

防災デイキャンプやりたい！

協働のまちづくり
チャレンジ事業
(金沢市委託事業)

さくらんぼすまいる

防災デイキャンプ

～ふだんのケアは災害時どうなる？～

参加親子募集



2024.9.28(土)
11:00~14:00

会場／工房シティ（金沢市粟崎）

参加対象：医療的ケア等のサポートが
必要なお子さんを含む親子10組



9月、防災ディキャンプの実施

災害時を想定したブースを5つ設定、ふだんのケアをやってみる

大きさの違う3台の車中で
温度や暗さを体感

車中泊体験

せまい車中で
注入や着替え
電源確保も



トイレ体験

テントやポンチョで
トイレ、できる？

※ 座るだけの
体験となります



展示協力：北良株式会社

▶ エアコン完備、途中入退室自由。看護師も参加し安全性も確保。

避難所環境

ダンボールベッド
に寝てみよう
電気を使わない
吸引器も体験



シートを使った移乗体験

少ない水で

器具の洗浄や
口腔ケア、
工夫してみよう



ベッド協力：県立看護大学

県立看護大学防災ボランティアサークルふたばの皆さんが、
嚥下メニューの考案から当日調理
まで担当



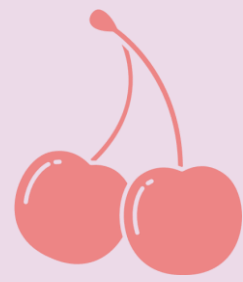
災害時の食事

備蓄や配給される
食材で、
停電・断水を想定
した嚥下食作り



参加者の昼食も
水で作れる非常用おにぎり

協力：石川県重症心身障害児を守る会



防災ディキャンプで、 たくさんの団体に連携・協力をいただく

- ▶▶ 共催：あおぞら福祉会 工房シティ
いしかわ医療的ケア児支援センターこのこの
- ▶▶ 協力：北良株式会社、石川県重症心身障害児(者)を守る会、
石川県肢体不自由児協会父母の会、
いしかわ医療的ケア児・障がい児家族グループPareTTe、
石川県立看護大学防災ボランティアサークルふたば

▶▶ この際のコラボが、次年度以降の連携へとつながった

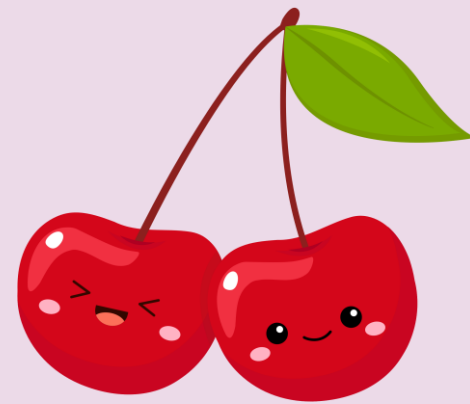
今後について

今年度より

- ♡ 金沢市障害福祉課の委託事業となります。
(いろいろ楽しい企画をしています！)
- ♡ 市の委託以外の資金面では、
「石川県重症心身障害児を守る会」
「石川県肢体不自由児協会」
「いしかわ医療的ケア児支援センターこのこの」
などと協力し合うことにより資金提供をいただきます。

重症児・医療的ケア児相談事業

さくらんぼすまいる



市との協働の意義、
お伝えしたいこと

「議員さん、課長さんとおつながったことは幸運だった」

…だけではない！

その前に大事なこと…とにかく

「言葉にすること」＋「行動すること」

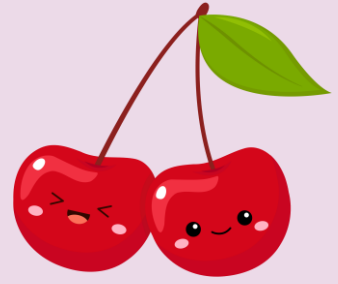
「長女の子育て経験を生かして何かがしたいんです！」

「親が悩みを話せる相談会がしたいんです！」

とにかく 会う人会う人に言いまくっていた

→ 情報が入ってきた、人脈がつながっていった

→ 同じように発達障がい児の親の相談会をしていると
聞いて見学に行き、主宰の方に話を聞いたりもした



さくらんぼすまいるがお伝えできること

(ゼロから始めた素人な私たちがやってきたこと)

▶▶これからチャレンジ事業など市民活動を始めたい皆さまへ

♡とにかく「思いを口に出す！行動する！」

♡どんな伝手でも使ってみる、アクセスしてみる

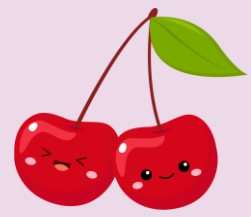
→ でも…やみくもではなく「頭を使う」したたかさも必要

→ そしてつながることができたなら…

♡「双方に利のある関係」がベスト。要望するばかりではなく、お互いの立場を思い尊重し、仲良く両想いであってほしいです

ココ大事





「行政とどうやってつながったらいいの？」



議員さんにお話をきいてもらう



子育て関連なら、福祉保健センターで保健師さんに話してみよう、などなど

「ちょっとハードル高いかな」 と思ったら…



市民活動サポートセンターへ相談に行こう！

とにかく行動！



心優しいコーディネーターの皆さんがお待ちしていますよ！

勝手にQ & A

Q.チャレンジ事業応募の決め手は？

- ▶ 相談会を、宗教団体の会合と勘違いされたから。
「金沢市協働」の一語を入れたい、**信頼性**がほしかった。

Q.チャレンジ事業で大事だと思うことは？

- ▶ 協働課と採択団体が**Win-Winな関係**であること。
「どんな利を提供できるか」アピールすること。



Q.チャレンジ事業、やってよかった！ことは？

- ▶ ほかの採択団体の、**志あるなかまと出会えたこと**が何よりの
いちばんの財産です。いまでもみんなつながってます！

ご清聴ありがとうございました！



重症児・医療的ケア児相談事業さくらんぼすまいる